

今回のエコユニット
カネパッケージ
埼玉県入間市

マングローブ再生でフィリピンに恩返し

梱包材の製造・販売を行う

カネパッケージは1996年

フィリピンで事業を開始。事

業を行うなかで、日本向けの

エビ養殖の影響でマングロー

ブ林が荒廃している事実を

知った。同社はCSRの一環

として2009年に植林活動

を開始し、これまでに372

万本以上の植林を達成した。

カネパッケージは、パソコ

ン、デジタルカメラ、医療機

器を包む耐衝撃性が高い梱

包材を中心に開発している。

15年ほど前から省資源化、3

Rを積極的にやってきたが、

一般的に梱包材は「使い捨て」
といったイメージが強い。

そこで、同社は、フィリピン

のNGOと組み、全グループ

の売上高の0.1%をマング

ローブの植林活動に充てるこ

とを決めた。マングローブは、

CO₂吸収のほか、海岸浸食

対策などの役割も果たす。漁

業だけが収入源の島民にとっ

て、植林や木のメンテナンス

業務は貴重な収入にもなる。

金坂良一社長は、植林活動

を始めた当初、「うちのよう

な中小企業は社会貢献活動

を行う余裕がない。継続して

いく責任も生じる」と反対を

受けたことを明かす。ところ

が、社員が実際にフィリピン

に足を運び、植林するうちに、

徐々に意識が変わってきたと

いう。現在は年に2回、国内

外のグループ社員を植林活動

に派遣している。

さらに、サントリーと共同

で「マングローブ植林基金自

動販売機」の設置を進める。

100円のジュースをかうと

10円が基金になり、10本の

売上げで1本のマングローブ

が植林できる仕組みだ。取引

先らをうまく巻き込みながら

すでに55台を設置した。

こうした取り組みが評価さ

れ、「eco検定アワード20

12」では、エコユニット部

門の優秀賞を受賞。金坂社長

は「私たちは大切な商品を真

心を込めて包んでいる。この

限りある美しい地球の自然

まで包めるように、事業活動

と環境活動に取り組んでい

きたい」と意気込みを語る。



上・2011年、フィリピン・
オラゴン島とバナコン島で
それぞれ校舎を寄贈した
右・「マングローブ植林基金
自動販売機」



Information

あなたの企業や団体で「エコユニット」に登録しませんか



eco検定受験者は約30万人に達しまし
た(2013年3月現在)。eco検定を主催
する東京商工会議所では、eco検定合格
者(2名以上)が主体となって環境保全活
動を推進する企業や団体を紹介・支援す

る「エコユニット」事業を実施していま
す。これまでに、約200社・団体でエコ
ユニットが誕生し、活動を始めています。
申し込み方法などの詳細は、ウェブサイト
をご覧ください。

2013年度eco検定[®]

(環境社会検定試験)

第15回試験日 12月15日(日)

申込登録期間 10月1日(火)ー11月1日(金)

申込登録は、ウェブサイトまたは電話で受け付けます。

東京商工会議所検定センター

☎03-3989-0777

(土日・祝日・年末年始を除く10:00ー18:00)

おかけ間違いのないよう番号をよくご確認ください

www.kentei.org

eco検定合格者限定
オルタナ定期購読割引のご案内

オルタナでは、eco検定合格者に限定して、4冊分の定期購読料金を通常の2660円から2320円に割り引きします。
ご希望の方は、富士山マガジンサービスから、お申し込みください。

☎0120-223-223 (年中無休・24時間営業)

www.fujisan.co.jp/alterna